



みんなで作る
紫金山公園プロジェクト

第2回
**ワークショップ
News Letter**

第2回ワークショップについて

第2回のワークショップでは、前回のワークショップで意見交換した内容を踏まえて、紫金山公園で「してみたいこと」について参加者の皆さんに具体的に考えていただきました。

グループワークでは「自然」「利用」「防災」「歴史」などのさまざまな視点で、たくさんのアイデアをいただくことができました。また、自分のアイデアだけでなく、他の人のアイデアもみてもらい、自分と異なる視点での公園の使い方も共有してもらうことができました。

今後、いただいたアイデアのいくつかを実際に公園で試してみる予定です。

- ・開催日時：令和6年2月18日（日）10：00～
- ・開催場所：吹田市立博物館
- ・参加人数：45名（うち、お子さん2名）



おおよぶ
大藪先生からのコメント

本日はみなさんからたくさんのアイデアをいただくことができました。例えば、紫金山公園の大きな魅力である自然について、見て楽しむだけでなく、薪を作って料理に使うようなアイデアもあり、さまざまな視点で公園の使い方について考えられたと思います。

これからの紫金山公園を考えて行く中で、公園に来たことがない人にも来てもらえるようにすることが重要です。そのため、四季の特徴を活かして、自然や防災に関するイベントに取り組んでいくことも面白いかなと思います。また、地域の子供たちにもっと公園を利用してもらうために、近くにある学校と一緒に取り組んでいくことも必要だと思います。



Instagram やってます！
【公式】紫金山公園
「みんなで作る紫金山公園プロジェクト」

ご意見はこちらに
お寄せください！

今後の予定

- 第1回：令和5年12月16日（土）10：00～
場所：吹田市立博物館
- 第2回：令和6年2月18日（日）10：00～
場所：吹田市立博物館
- 次回
第3回：令和6年6月23日（日）14：00～
場所：吹田市立博物館
「してみたいこと」を試しにやってみる準備！」
→社会実験：令和6年9月頃
- 第4回：令和6年11月頃



ワークショップの進め方

- ①「してみたいこと」シートに
- ・将来、公園でしてみたいこと
 - ・将来に向けて、試しにしてみたいこと
- を書く

②グループ内で自分のアイデアを発表

③「いいね！」と思ったアイデアに投票



「してみたいこと」のアイデア

▶自然環境を楽しめるように、**モデルルート**の設定、**植物名やルートの看板**の設置をしてみる

▶自然の**保全活動**をみんなですてみる。**植物、歴史の観察会**をしてみる。**防災訓練**として、炊き出しをしてみる。 など

▶**コバノミツバツツジ**を**保全**するために、常緑樹の伐採や下草刈りを行う。**コバノミツバツツジ**を**自宅**で育ててみたい。

▶従来の防災訓練のほか、かまどベンチやマンホールトイレ、トイレやキッチンのトレーラーなども取り入れた**防災訓練**をしてみる



▶**コバノミツバツツジ**の増殖、**外来生物の駆除**等の保全活動を行う。**環境教育の場**として使ってみる。

▶**デイキャンプ場**をつくらせてみる
子どもが**水遊び**できる**プール**を設置してみる

▶利用できることが大事な**季節に応じた催し**（花見など）や**防災活動**などをする

▶子どもが**水辺や生き物にさわ**れるような**自然**をつくる。**竹林や松林**をつくる。 など

▶里山の生産と魅力向上のために、**きのこ栽培**をしてみる

▶木々の剪定プロジェクト！！**木を継承**していくために、専門の方から学びながら新しい芽吹きのための**剪定、整理も体験**してみる など

▶**紫金山全体**を探検しながら調査し、**魅力を巡るツアー**を考えてみる
防災に使える**トイレベンチ、トイレ**を設置してみる

▶**避難ルート**の**安全性**を確認してみる
スケボーをする人にどんな施設ができればいいか話してみる

▶公園の**歴史**を学んで広める機会をつくらせてみる

▶人の**ネットワーク**を作るために、**自然観察会**などを通じて**もっと人があつまる機会**をつくらせてみる

▶博物館を開放的にして、**イベント、コミュニティ**の活動の場づくりに取り組んでみる

▶**たき火**や**BBQ**ができるか確認するために、試しに行つた煙の影響、片付け、**サイト数**の確認等を行つてみる

▶里山の**自然植生の管理**に若い方が参加できる機会を作ってみる

▶「**どんぐりまつり**」にもっと人を呼びたい。**紫金山**の不要な**木材や木の突**を使った**ワークショップ、学生会、二近所の作家さんや店によるマルシェ**をしてみる。

▶多世代が参加できる**パフォーマンス**等の広場、**瓦焼き**等の**歴史体験、公園を周回**できるようにする、**音楽・パフォーマンス、ボール遊び**ができるようにする

▶紫金山のことを知ってもらえるように、**里山保全の魅力**を**体験ツアー**（防災体験・歴史から学ぶ）をする。**芝生公園**では**マルシェ**も！

▶**本の物々交換**をしてみても、どれくらいの人、年齢の人があつまるか試してみる

▶公園の**自然や歴史**を**体験**できる「**紫金山公園オープンデー**」をしてみる（自然や歴史の体験、保全活動やガイドツアーへの参加など）

▶毎月の活動時に保全作業をすると共に、**紫金山公園の自然ガイド**をやってみる

▶**テント**や**あそび道具**の**レンタル**をしてみる

▶里山の**コナラ**を切って**キノコ栽培**をしてみる

▶里山の管理作業の体験、池や森にいる生物の調査体験など、**子どもと一緒に環境保全**にとりくんでみる

▶**間伐材**から**製品**を作つたり、**落ち葉**を利用して**焼き芋**とかをつくってみる。わレー選手権をしてみる。

▶地域のお店と個人が出店できる**マルシェ、キャンプ・ウッドクラフト体験、イルミネーション**などをする

▶**親近**な池から公園内にかけて、車いすの人も楽しめる**チェアリングスペース**を設置してみる

▶悲しい時、困った時、一人で寂しさを流せる空間・場所がある公園を目指す

▶**虫や植物の観察会**を企画してみる。雑木林を整備して、**未来まで森**として残したい など

▶自然の魅力がどこにあるかを知る**案内やワークショップ**をしてみる。**フォトコンテスト**をしてみる。

▶**被災**も想定した**避難生活体験**をしてみる
テントを張つてみたり、炊き出しの体験など

▶**たい肥づくり**をしてみる

▶**たい肥づくり**をしてみる

▶**たい肥づくり**をしてみる

▶**たい肥づくり**をしてみる

▶**たい肥づくり**をしてみる

▶**たい肥づくり**をしてみる

▶**たい肥づくり**をしてみる

▶いつでも、**だれでも参加**できるような**フットサル**を企画してみる
呼びかけしやすいような雰囲気をつくらせてみる

▶将来に**桜の木**の下で**音楽ショー**をしてみたいので、まずは**ボランティア**の人を集めて**公園のゴミや落ち葉**を整理してみる

▶古代の登り窯にちなんで、**ピザ窯**を作ってみる
里山の間伐材を使って焼き、**食材は地産地消**で！

▶公園内に**自然や歴史**についての**ミニ情報やクイズ**を設置し、探しながら周つていけるようにしてみる

▶**コバノミツバツツジ**、**吉志部瓦窯跡**、**吉志部神社**など、**自然や歴史の観察・見学・解説**をしてみる。

▶**松茸**が育つような**環境**を作ってみる

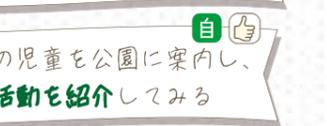
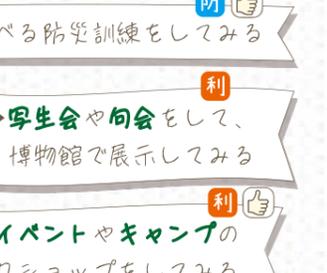
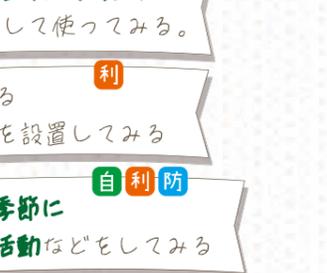
▶**多世代**が**交流**できるような**キャンプ**をしてみる

▶**電気エネルギー**（流水発電など）を作ってみる。あらゆることで**地域の若い人**（小学生、中学生、高校生、大学生）の**アイデア**を尊重する。 など

▶**スタンプラリー**や**謎解きゲーム**をして、里山エリアを歩きつかけにしてみる
木やどんぐりを使った工作、田んぼで泥あそび、もちつきなどの**昔ながらのイベント**も組み合わせる

C グループ

B グループ



A グループ

